

『明解現代文B 改訂版』

発行者番号・略称	教科書の記号・番号
15 三省堂	現B 325

A5判, 372ページ 編集代表：中渕正堯・三浦和尚

〈1. 内容〉

- ①全体をとおして、「読むこと」を中心として総合的な言語能力を育成する適切な内容であり、学習指導要領の教科の目標を達成することができる。
- ②評論と随想の教材は、幅広いテーマから、生徒の関心を引く話題や主体的に考えられる話題が取りあげられており、生徒が意欲をもって学習に取り組めるようになるとともに、「文章を的確に理解し」、思考力を高め、論理的に物事を捉える力を育てることができる。
- ③小説および詩、短歌、俳句の教材は、オーソドックスな作品と現在注目されている作者による新しい教材とをバランスよく採録し、「ものの見方、感じ方、考え方を深め」て「国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。」ことができる。
- ④収録されている教材文は、いずれも平易で読みやすく、かつ主体的に考えを深めることができるものであり、「文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め」ることができる。
- ⑤「日本語ストレッチ」は、気づきをとおして日常の言葉使いや文章表現を振り返って見直すことのできる課題が豊富に設定されており、的確に「国語の向上を図」ることができる。
- ⑥「ブックガイド」では、教材に関連した書籍が写真・解説入りで豊富に紹介されている。選書も適切で、読書指導に有益であり、「進んで読書すること」、「文字・活字文化に対する理解が深まる」ことが期待できる。
- ⑦「実用の文章1」で手紙と掲示の文章、メールについて考え、「実用の文章2」で本のポップを作る活動、「話す・聞く」では自己PR、さらに「書く」で意見文を書く活動がそれぞれ設定されており、実践的かつ日常的な課題をとおして、社会生活に必要とされる「適切に表現する能力を高める」ことができる。
- ⑧前後の見返しや資料編には、学習活動で活用できるさまざまな資料が掲載されており、生徒の教材理解、主体的な言語活動を支えるものとなっている。

〈2. 構成・分量〉

- ①I部・II部に分かれた本編と資料編との2部構成になっており、多様かつ柔軟な指導、カリキュラムマネジメントが実現でき、2か年での履修にも対応している。
- ②生徒の発達段階を考慮した、ジャンル別で段階を設定した単元構成となっており、また各単元には複数の教材が設定され、学習の実態に応じた多様な指導が実現できる。
- ③教材の配列と分量は、生徒の発達段階が配慮され、適切なものとなっている。
- ④適度な長さの親しみやすい教材で構成されている。教材数も適切で無理なく学べるように配慮されている。
- ⑤教材文は、いずれも平易で読みやすく精選されており、学校の実態に応じた多様な指導が実現できるように配慮されている。
- ⑥教材は、評論・小説・随想・詩歌のジャンルがバランスよく収録・配置されている。

- ⑦教材は、近代から現代までの文学史が配慮され、バランスよく収録・配置されている。
- ⑧Ⅰ部に二つの「実用の文章」、Ⅱ部に「話す・聞く」「書く」単元が、それぞれ段階的に設定されてあるので扱いやすい。

〈3. 表記・表現、及び指導上の工夫〉

- ①「常用漢字表」にない漢字・音訓、固有名詞などには、見開き初出ごとに振り仮名が付けられている。また平成22年に新たに「常用漢字表」に加わった漢字・音訓、高等学校で学習する音訓、および常用漢字であっても読み誤りやすいものには、教材初出で振り仮名が付されており、漢字の読み書きの定着や教材理解に資するよう配慮されている。
- ②各教材の冒頭に、学習の導入としてリード文が示されており、生徒の関心を喚起し、教材文の内容に興味をもって学習を進めていけるように工夫されている。
- ③各教材の意味や用法に注意して身につけておきたい語句は、脚注欄に抜き出して見開きごとに整理してある。また、意味調べや対義語・類義語調べ、短文作りなどの学習活動も指示されており、語彙の確実な習得を図ることができる。
- ④各教材の中の身につけたい漢字を見開きごとに本文中から抜き出し、脚注欄に整理して示しており、漢字の定着を助けるものとなっている。
- ⑤学習の手引きである「学びの道しるべ」には、価値目標と技能目標の二つの学習目標が明示されており、生徒が見通しをもちながら学習を進めることができる。
- ⑥学習の手引きである「学びの道しるべ」には、文章を理解し読み深めるための課題が段階的に設定されており、生徒が文章を的確に理解しながら学習を進めることができる。
- ⑦学習の手引きである「学びの道しるべ」の課題には、適宜、読解のヒントが示されており、生徒が主体的に学習を進められるよう配慮されている。
- ⑧学習の手引きである「学びの道しるべ」には、「学びを広げる」に多様かつ適切な言語活動がそれぞれ設定されており、主体的で対話的な言語活動をとおして「文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める」ことができる。
- ⑨学習の手引きである「学びの道しるべ」には、本文脚注欄に抜き出した語句と漢字についての課題がさまざまな形で収録されており、着実に「国語の向上を図る」ことができる。
- ⑩「実用の文章」と「話す・聞く」「書く」の単元には、言語活動の手順が具体的かつ簡潔に示され、かつ実例も豊富に挿入されており、生徒にも活動内容が理解しやすく、授業で扱いやすくなっている。
- ⑪写真・図版の使用が適切である。

〈4. 印刷・造本上の配慮〉

- ①活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。
- ②図の色づかいなどは色覚特性に配慮したものとなっており、また、用紙が落ち着いた色あいでも光の反射も抑えられているため、読みやすい紙面となっている。
- ③カラーユニバーサルデザインに基づいて編集が行われており、全ての人に情報が正確に伝わるように配慮されている。
- ④製本は堅牢である。
- ⑤環境にやさしい用紙と植物油インキが用いられており、地球環境や資源への影響も考慮されている。